

昭和62年度総会御案内

本庄高等学校同窓会員各位

本庄高等学校同窓会 会長 岡 祐 孝

木々の緑もあざやかな頃となり、皆様におかれましては如何お過しでしょうか。

さて、本庄高校は創立65周年を迎えますが同窓会では下記の如く定期総会を開催し、会員の親睦と母校への協力を深めたいと思います。さらに昨年に引きつづき母校恩師の御招待も計画しています。会員お誘い合せの上御出席を心よりお待ち申し上げます。

日時：6月13日(土)午後2時 場所：埼玉グランドホテル(本庄駅南) 内容：午後2時定期総会 3時ティーパーティ(無料)記念演奏会 ソプラノ浅見多佳子・クラリネット萩原定夫・ピアノ中原尚子 3時半恩師を囲んで(会費 3,000円)御招待・堀越龍夫、中谷幸次郎、高木 恂3先生。



発行
本庄高等学校同窓会
会長 岡 祐 孝
事務所 本庄市銀座3-5-8
岡 病院 内

昭和61年度
事業報告
61年
4・5 定例役員会
5・10 定例役員会

ごあいさつ

同窓会長 岡 祐 孝



— 昨年総会で —

風薫る初夏の候、同窓会の皆様にはご清勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。親愛なる同窓生の皆様には平素同窓会の発展に絶大なるご理解ご支援を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。お蔭様をもちまして、会の運営も順調に推移し、今や、終身会費のご納入者も約千余名を数えるに至りました。ために、会の基礎財源は着実に累積し、今後の、より一層スムーズな会の運営が期待出来まことはご同慶の至りでございます。さて、本年度は、母校創立満六十五周年に該当いたします。

5・20	メンテナンス契約締結	1	石川 智美	(24)四三二六
6・7	同窓会会報 No.5 発行	2	真下 秀彦	〇四八五
7・5	定期総会開催	3	安藤紀美恵	(32)四一九
8・2	定例役員会	2	真下 文康	(22)五一〇
9・6	定例役員会	3	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・4	中高連絡会	3	真下 文康	〇四八五
11・25	PTA役員との懇談会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・15	同窓会会報 No.6 発行	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・7	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・7	新年会・支部長会議	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・14	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・14	新会員入会式	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
11・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
12・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
1・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
2・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
3・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
4・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
5・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
6・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
7・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
8・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四八五
9・24	定例役員会	2	安藤紀美恵	(22)五一〇
10・24	定例役員会	3	真下 文康	〇四



OBからの注文

竹内善昭
(本中22回卒)

母校は文句なしに懐しい。青春時代の思い出でつながっているからであろう。ただ、年をとって、気持の上で一層結びつきを感じるようになったせいか、母校に関するちょっとした風評も気になったりする。

この春、旧制本中時代の同級生が集まった際、たまたま母校の現況が話題になった。

現役PTA会員でもあるA君が最近の進学状況を説明したところ、仲間のほとんどが顔を曇らせた。中にはあからさまに失望・不満の声を発するものもあった。

旧制本中が創立された大正十一年当時、埼玉県下には県立中学校が四校、私立中学校が一校しかなく、母校は東北のエリート校として、人材を雲の如く輩出してきた。その校風と歴史と伝統が、わたしたち卒業生のプライドを支えてきた。それがいま、崩れだしているというのである。学区制や偏差値教育のしわ

よせ、PTAや同窓会と学校側との不協和音など、母校の地盤沈下をもたらした原因や背景もいろいろ話に出た。同情すべき事情も十分あるようだが、しかし「ともかく先生方に指導性を發揮してもらいたいのが第一」というのが、仲間たちの声であった。

現状打開とひと口にいっても、実際にはむづかしいことだろう。もちろん、進学だけの問題ではないし、スポーツ面でも本高の評判を高めてもらっても結構だ。地元卒業生はたくさんいるのだから、その協力・参加を得られるような学校行事を考え出すなり、消えてしまったいい伝統行事を復活させるなど、本高と地元市民との交流を深める工夫や努力が必要であろう。

例え、わたしたちの時代の行事、軽井沢までの六十四キロの剛健行軍。六十才近いわれわれの仲間、それが懐しくなつて、昨年十数人が能の平から軽井沢まで歩いたものである。今年も近く実施しようという計画を進めている。しかし、こうした行事は現役の後輩に引きつがれてこそ伝統として根づいていくのではないだろうか。そうした、継承の努力がなくては、「才月あれども伝統なし」の魅力のない高校になり下がってしまうだけだ。伝統も校風も一朝一夕ではつくられない。もし、「伝統とは今に生きるものでなければならぬ」というなら、そのコンセプトを現役が大事にして、男女共学のいまの本高にふさわしい行事や校風に様変わりして、継承していったらいい。

そして、できればPTAや同窓会のメンバーも一緒に参加して、楽しみたいものだ。共通の体験を経て、はじめて先輩・後輩の心のためが結ばれるのではなからうか。(筆者は大卒・前毎日新聞論説委員・本庄市小島 一四一九)

スローガン

- 1. 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し、母校の発展に寄与しよう。
- 1. 本高同窓会の旗の下に結集し、地域に香り高い文化の花を咲かせよう。
- 1. 人間関係を大切に、会員相互間に親睦の輪を上げよう。
- 1. 組織を整備強化し、機能的な連絡網を拡充して、同窓会の活性化を図ろう。
- 1. 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成に努めよう。

教職員の異動

〈転出〉全日制

教諭 山本厚生 逝去

針谷良美 退職

山口泰

中島民治 深谷高へ

須藤和夫 上智大へ

堰口みさほ 退職

大沢博一 退職

栗原忠昭

竹内忠昭

中林清次

根岸隆博

吉田敏子

〈転入〉定時制

講師 内田千恵 羽生実業高

講師 前林利行 退職

講師 小島満江

〈転入〉全日制

教諭 松岡博 深谷高から

青木康行 行田工業高から

針谷良美 (理科)

中島弘子 (国語)

小室靖史 (社会)

乗松雅宏 (社会)

大迫哲哉 (数学)

竹沢茂 (保体)

寺園和仁 (英語)

武井閑与 児玉高から

養護 養護

塗装工事



内藤塗装工業株式会社

代表取締役 内藤 明(高3)

本庄市日の出1-12-29・TEL 24-2323(代)

風をテクノロジーする

サンデンカーエアコン レザム

旭産業株式会社

社長 牛久保和雄(高2)

本庄市沼和田948・TEL 24-2181(代)



校長 高山 晃

本校は創立65周年に当たり、輝かしい伝統を引き継ぎ、一層の発展を期さねばと考える今日である。本高生は誇りをもち、高校生らしく、明るく活動的な生活を送っている。しかし、進学について気力の乏しい者が若干あり、それが結果となって現われている。猛省を促しているところである。

近年、多くの方々の関心事は卒業生の進路状況である。そこで、昭和61年度の進路の概要を述べてみる。国公立大12名、私大25名(共に浪人含む)、短大49名(現役)、専

修・専門学校73名、公務員、私企業等21名という状況で、かなりの浪人がいることとなる。来春を期待している。学校としては、進路対策として、「進路のしおり」再構成発行、進路情報の提供、相談、模試の増加、これへの積極的な参加を求めムード作りを励んでいる。平素の授業の重視と、受験勉強の推進、早期に目標を立て努力することを願っている。今後の成果を期待している。なお、優秀な中卒者は必ず本高へ向けて下さることが、本高の活性化になるのでご支援を願います。

進路状況

(国公立大学)

- 茨城2 群馬4 埼玉1 広島1 高崎経済2 群馬県立女子1 静岡県立1

(私立大学)

- 青山学院4 跡見学園女子2 学習院3 神奈川1 関西外

- 語1 関東学院2 北里1 京都産業1 慶応1 工学院6 神戸女子1 国学院2 国士館1 駒沢8 産業能率2 実践女子1 淑徳1 女子栄養2 城西12 上智2 昭和女子1 昭和薬科1 専修1 創価1 大正1 大東文化23 拓殖1 玉川1 多

(短期大学)

- 群馬医療技術1 茨城大工業1 跡見学園女子2 宇都宮大妻女子1 学習院女子1 共栄学園1 共立女子1 国学院栃木1 国際学院埼玉1 埼玉純真女子3 淑徳1 尚美学園1 昭和女子1 実践女子1 十文字学園女子8 女子聖学院2 城西大女子4 土浦女子2 東京家政3 東京成徳1 東邦音楽1 東洋女子1 東洋大学2 東横学園女子1 新島学園1 日本経済1 文化女子1 文京女子1 目白学園女子3 立正大学2

(専修・専門学校)

- 神奈川県立平塚看護1 県立北高等看護2 県立南高等看護4 県立養護教諭養成1 東京都練馬高等保育1 都立板橋看護1 阿佐ヶ谷美術1 大宮赤十字看護2 神田外語3 桑沢デザイン1 国際医療管理1 国土建設1 埼玉歯科衛生5 埼玉電子工3 鈴木服飾1 第二東京観光1 高崎スクールオブビジネス1 中央工3 千代田工科1 千代田工科芸術1 帝京医学技術1 東京愛犬高等美容1 東京医学技術1 東京音楽音響ビジネス1 東京会計4 東京工学院1 東京コンサルヴアトリアル尚美1 東京スクールオブビジネス1 東京デザイナー1 東京デザイン1 東京電子1 東京マックス美容1 東京理美容1 日大歯学部付属歯科衛生1 日本エディタースクール1 日本外国語1 日本建築1 日本工学院2 日本ジャーナリスト1 日本電子1 華服飾1 パンタンデザイン1 パンパシフィックインスティテュート5 東日本会計1 文化服装学院3 武蔵野調理師1 山口文化服装1 早稲田電子1

(就職)

- インフォメーションオフアリングシステム2 埼玉銀行2 資生堂1 高島屋1 埼玉日本電気1 日産ディーゼル1 東京電力2 東武鉄道1 富士電気1 国家公務員9

謹告

すでに終身会費を納入いただいた方でも昭和四十四年から昭和五十二年卒(高21)高30卒、定20(定29卒)の方に「郵便振替用紙」が同封されますのでお戻り下さい。お願ひ申し上げます。

訃報

長年母校の同窓会担当係で本会の監事を務められておられた山本厚生先生には去る四月二十一日ご逝去なされました。生前の本会に対するご尽力に感謝し、謹んでご冥福をお祈り致します。

編集後記

○新町支部誕生
新町在住の恩師富沢 温、野口久吉両先生並びに地元有志の方々のご尽力により去る五月九日(土)新町公民館において盛大に設立総会が開催され山口仁一氏(旧中十四回)が支部長に選出された。会員数約二〇〇名の大世帯です。今後のご活躍を期待します。○本庄市児玉郡中・小学校教職員支部誕生予定
去る四月二十日、山中清(旧中二十二回)、卜部義典(高一回)両氏が発起人代表となり、支部結成を呼び掛けます。予定会員、一〇〇名余。○六十五周年記念講演会を十月下旬に開催予定。現在講師選考を進めています。○次回八号は十一月発行予定。

内野歯科医院

院長 内野昭八郎(高4)

本庄市大字傍示堂518・TEL 22-2817

株式会社 関口組

代表取締役 関口雅之(高3)

本庄市日の出2-1-46・TEL 21-2010(代)

終身会費納入についてお願い

親愛なる同窓生の皆様、平素本高同窓会の為に多大のご協力を賜り誠に有難うございます。私達は同窓会の本旨に則り母校への寄与貢献と会員相互の親睦向上を念願し努力致しております。同窓会活動を円滑に推進する上で一番大事なことは御案内の通り財源の確保であります。幾多の事業を遂行しようと思つと、相当の基礎財源を必要とします。本高同窓会では年会費、金壹千円也と入会金、金貳千円也、それに終身会費金壹万円也と、特別寄付金、其の他で財源を賄つております。終身会費納入制度は昭和五拾年持田前会長の時代に総会の議決承認を得て制定されました。現在約千余名の納入者があります。終身会費納入者には、金壹万円也のご拠出でその後の年会費は終身不要です。尚同窓会本部の終身会費納入者ご芳名簿にその名を記載して、永久にそのご高志を称えることとしております。その上、同窓会報の発送や、総会其の他のご連絡を優先的に致します。何卒、同窓会発展のため倍旧のご支援ご協力をお願い申し上げます。

終身会費ご納入の際には左記口座にご入金下さい。
郵便局振込口座番号東京三十一八七〇二〇、又は埼玉銀行普通預金口座番号本庄一八九一〇七七七三
本高同窓会役員一同

終身会費納入者芳名(6)

(61・12・4、62・3・20受領) 卒業年度別(敬称略)

- 中6 馬場通博
- 中8 戸矢忠慧
- 中22 大野福治
- 女15 小林雅子
- 女19 佐藤禮子
- 女20 野口愛子
- 高1 篠崎達雄
- 高2 高野保夫
- 高3 田島榮作・秋山芳子
- 高4 関根克司・池田敬子
- 高5 山口美明
- 高6 船戸鏡聖・柴崎武治

- 高7 井上章吾・鷲宮滋子
- 高11 木村ちよ・北川茂・柳紀雄・粕谷桂子・常木敬司・星野三郎・福島豊・重野光行・宮関元・深町和男・田端晴江・川田悦子・細野房江・塩原朋代・小暮紀美子・小暮一弘・北原俊子
- 高12 白石正・竹井静江・武藤庸子・塚本たき子・千島のり・三須弘二朗・中村多美子・塩原樓二・高橋三子・谷本洋子・稲山鶴代
- 高13 横堀洋子・茂木秀夫・井田紀洋・土岐君子・岡根正雄・宮田典雄・石原悦子・田島美智子・秦静子
- 高14 中原幸子・戸谷洋一郎・入利雄・茂木勝一郎・松本洋子・戸森清子・大塩都代子・富田英夫・塩原勝・塩原尚枝・中原きみ子・深澤信一・小暮勝良・菊地隆・並木初江・伊倉且典・金井由美子
- 高15 大木忠孝・江原徳江・小川圭子・吉田真紀子・横関洋子・畑中利子・坂本潔・塚間洋子・大沢秀男・福島道夫
- 高16 宮本幸子・山田和彦・小林玉枝
- 高17 小沢鋭男・石川衛之・菅沼悦子・高橋脩也・斎藤収弘・杉上昇・野沢光子
- 高18 伊久間邦夫・早川慎一郎・井上富美枝・金子房枝・岩上雄作・鈴木章三・門倉英

- 幸・星野武男
- 高19 丸橋和枝・南敏雄・小暮和雄・遠藤美恵子・相馬義一・清水一夫・大沢よし子・村山俊子・丸岡昇三・高木哲・黒沢恵子・山崎梅子・柳田孝二・古指輝次・中村ミネ子・今井勉・堀込茂正・荒井登志雄
- 高20 柿沢治男・宮沢富雄・荻原敏子・長野幸三・島崎俊明・坂本清美・大谷謙史・葛和真澄・桜沢恭治
- 高33 小川雅博
- 定7 藤野広統
- 定10 田島奈々子・金井照季・高村真二
- 定14 山口文男・坂上忠正
- 定18 中沢敏
- 特別寄付 富田三郎

本部役員

- 会長 岡祐孝
- 副会長 立川大作・竹並栄一郎
- 橋爪茂夫・関口一郎
- 吉田建治・高木敏子
- 竹内清四郎
- (教頭) 岩田淳・荻原甚三郎
- 會計 戸谷全亮・江原清吉
- 監事 齊藤淑人
- 内野ヨシエ
- 顧問 塩原英雄・持田直次
- (校長) 高山晃

支部役員

- 本庄連合 (支部長) 立川大作 中9
- 宮本 栗村龍男 中16
- 泉町 竹並栄一郎併中2
- 仲町 中田脩一 中19
- 上町 境野登 高2
- 七軒町 町田一徳 高5
- 本町 鈴木清司 中21
- 台町 飯野利衛 中19
- 照本町 村田敬次郎 中22
- 南本町 坂本敬信 中12
- 末広 井上昌幸 中22
- 諏訪町 内藤明 高3
- 朝日町 荻野清 中8
- 藤手 橋本願 中20
- 旭 戸塚泰和 中3
- 北泉 門倉義久 中11
- 今井 岡芹鶴五郎 中10
- 児玉 吉田建治 高2
- 美里 春山一三 高3
- 神川 戸谷久衛 中3
- 神泉 新井從信 中15
- 上里 荒井富次雄 中11
- 深谷 関口一郎 中17
- 寄居 朝比奈利雄 中9
- 熊谷 西村茂雄 中17
- 県庁東南 高橋英二 中20
- 伊勢崎 小此木董一 中23
- 東京 富田三郎 中4
- 本庄市役所 黒田達雄 中2
- エーザイ 春日仲康 高5
- 沖電気 小沢徹之 高13
- 新町 山口仁一 中14

松原工業株式会社

本庄市寿1-3-17
TEL 21-1241(代)

株式会社 カクサン

取締役社長 梅村孝雄(高9)
本庄市本庄3-1-21・TEL 22-5251(代)